

○八管本部長の江口です。

○本日は、お忙しい中、定例懇談会にご参加頂きありがとうございます。

○本日は、巡視船「だいせん」での開催とさせていただきます。記録が残っている範囲では、巡視船での記者懇談会の開催は八管区では初めてのようです。宜しくお願いします。

巡視船「だいせん」は第八管区管巡視船艇23隻の所謂、旗艦「フラッグシップ」です。

船名に付される「PLH10」は、ヘリコプター搭載型大型巡視船のうち汎用型のヘリ1機搭載船の10番船という意味ですが、平成13年10月竣工で、この船型のシリーズは10隻で最終建造船です。ちなみに、4番船PLH04は、「うらが」横浜（現「うるま」那覇）、5番船PLH05は、「ざおう」宮城ですが、いずれも私の乗船勤務船で、この船型の巡視船には非常に親しみを感じています。

○本日は、「だいせん」は訓練日程で、乗組員は拳銃訓練等を実施中ですが、この後、水上オートバイのデモンストラクションを前面海域で予定していることもあり、記者懇談会の会場としてご相談したところ、快諾頂き、本日の開催となりました。船長、ありがとうございました。

○さて、先月30日開催の定例懇談会後の管内の状況ですが、まず、我々の体制の変化として、8月11日には、敦賀海上保安部に新造巡視船PL92「えちぜん」が就役後初入港して新体制となりました。引き続き、管内アセットを総動員して各種課題に取り組みます。

海難発生状況ですが、24隻の船舶海難（京都府内は7隻）、30人（京都府内は8人）の人身海難が発生しております。詳しくは、本日の発表事項「夏季のマリンレジャー活動に伴う事故状況（速報）」の中でご報告申し上げます。

先月の定例記者懇談会において、私から水上オートバイ事故に関連して、水上オートバイの運動特性、運航資格取

得の簡易性等について申し上げましたが、本日は詳しく担当から説明の上、海上安全指導員の方にご協力頂いて、実際に水上オートバイの航走状況をご覧頂ければと思いますので宜しくお願いします。

○ここ数日は、猛暑が続く予報となっておりますので、8月最終となる今週末も、マリレジャー関係の海難発生に備え警戒態勢を執ることとしております。

○また、天候の関係では、今年は、観測史上まれにみる状況で台風の発生が少なく推移しています。現在は、台風8号が朝鮮半島の西側を北上・上陸している状況、当管内への影響では、今月10日から11日にかけて、第5号が沖合を通過し警戒配備対応をしたところです。

しかし、一昨年には、管内でも8月24日に台風20号の影響で栗田湾において貨物船が定置網に乗り上げるなどの海難が発生しており、9月4日には台風21号の影響で、関空連絡橋にタンカーが衝突する重大海難が発生しています。

9月以降、本州付近への接近・上陸の危険性が高まるとの予報もあることから、秋に向けては、台風災害への警戒を強めたいと思っております。

○私からは以上です。